※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）教育と ICT	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「教育と ICT」は総合学科ならではの特色のある科目です。教育業界でも DX が進み、教育者の情報リテラシーの向上が必要とされています。様々な教育分野がありますが、多様な分野で活用できる知識や技能を身につけ、積極的に ICT 機器を活用する姿勢を養いましょう。
　様々な人々と関わる機会が多いです。積極的にコミュニケーションをとりましょう。

2　学習の到達目標

　情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度・教育業界で ICT 機器が活用されている実態を踏まえ、自ら主体となって ICT 機器を活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本ソフトウェアの使い方を理解し、基礎的な知識・技能を身につけている。	課題の発見・解決に向けての考察を深め、目的に応じた情報技術の活用を実践している。	教育現場において、情報技術を活用する意義に気づき、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文書作成の基本	文書処理ソフトウェアの基礎 Google ドライブの利活用 文書校正の理解 表の作成 画像の挿入	a:文書校正のルールを理解している。 b:保護者宛文書を作成できる。 c: 他者と協働しながら課題に取り組み、積極的に習得した技能を活用しようとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 ポートフォリオ	ワークシート ポートフォリオ
	表計算ソフトの基礎	基礎関数の理解 グラフ作成 その他の関数の理解 記録簿の作成	a: 表計算の基本的な関数の機能について理解し、目的に応じて操作する技能を身に付けている。罫線の作成方法を理解している。 b: 表の作成に必要な関数を適切に判断することができる。より見やすくわかりやすい記録簿が作成できる。 c: わからない関数や習得の難しい技能について、グループで共有することで、課題解決に向けて、互いに学習状況を評価し改善しようとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 ポートフォリオ	ワークシート ポートフォリオ
2学期	教育現場でICT機器を活用	Google Form の利活用 Google Classroom の活用 ICT 機器を活用した授業実践	a:教育機関が活用できる Google サービスについて理解している。 b:Google Form を活用できる。アンケート結果を加工して、文書作成ができる。 c: グループで協働して課題を取り組む中で、教育活動における ICT 機器の利活用について理解を深め、情報技術を適切に活用するよさに気づき、情報社会に積極的に参加する態度を養おうとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 ポートフォリオ	ワークシート ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

３学期	ICT 活用事例の研究	ICT 周辺機器の利活用について ICT 機器を活用した教育実践をまとめる	a:ICT 周辺機器の機能を理解している。エラーが起こった時の対処法を理解している。 b: 教育活動における ICT 機器を活用した事例を理解して、実践することができる。 c: 教育活動における ICT 機器を活用した事例についての理解を深め、積極的に学び、よりよい活用について提案しようとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 ポートフォリオ	ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度